

平成22年度
商工会事業評価システム
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 5月13日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月27日（予定）

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町 商工会
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚

群馬県商工会連合会

1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名

東吾妻町商工会

所在地 吾妻郡東吾妻町原町979-4

(2) 団体の概要

①会員数 467名

②小規模事業者数 630名

③職員数 6名

平成22年3月31日 現在

(3) 構成役員

①会長 1名

②副会長 2名

③理事 25名

④監事 2名

(4) 評価事業期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日

(5) 評価算定者

職名 経営指導員

氏名 山田登政

<記入上の注意>

以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績
(要因を含む)を記入するにあたってのご注意

(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求められています。

(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化（大型店の出店・地域プロジェクト・役員の改選・職員の人事交流等）並びに年間を通じ特に重点を置いた事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコメント記述してください。

2. 総括的概要

世界同時不況から幾分景気は持ち直しているとはいいながら地域経済は苦境を呈している。業種構成の多い建設業は公共事業の削減とともにハツ場ダム本体工事の中止宣告は建設業界の期待を失い、今後の展望を見いだせず廃業に追い込まれた事業者もでてきた。製造業はコスト削減圧力から厳しい終わりのない原価削減競争を続けている。事業者は近隣の大型店の影響で一般消費者の足が遠のき、食材、土産品などの施設への卸売も絶対量の減少傾向で将来への不安が隠せない。サービス業は地域経済の停滞の中で需要が減少している。

地域振興を図るべく地域資源を生かしたイベントを実施した。4月にはすいせん祭りを商工会青年部が主催し地域振興、観光イベントとして大いに評価を得た。東吾妻ふるさと祭は小学生の鼓笛隊を始め、多くの団体が参加しやすい日程や本町のイベントの調整検討し、好ましい条件を考慮し10月4日に開催した。一定の成果を収め盛況に実施でき、さらに町を代表するイベントとして充実させたい。

歳末の大酉祭は歴史を重ね定着し、商業組合の餅つき大会や子供向けのイベントなど本年は休日開催であったこともあり企画したイベントも好評であった。さらに工夫した企画も期待される。

商業振興のためのハード事業として原町地区の街路灯の整備を行った。国の補助事業「中小商業活力向上事業」を利用し、町の支援も受けた。多くの関係者の協力のもと省エネ型街路灯整備が完了し、次なる商業振興に向けて努力が必要だ。

商工会の根幹事業である指導事業は金融、税務相談を中心にさらなる専門的充実度が求められる。厳しい経営状況下、経営悪化の深刻な相談が多くなっている。

本年は事務局の職員退職で新たな対応に迫られた。6月に事務局長が退職し、経営指導員が3月の年度末に退職となり、期待される職員がそれぞれ補充された。

上部団体である商工会連合会の指導のもと大改革の方向が示され、今後の組織改変について十分な研究とこれからの在り方が問われることとなってきている。

少子高齢化社会の到来、消費者需要の減退や商工業者の減少はより厳しい時代を迎える中、時代の要請にあった商工会運営を図り、さらに「魅力ある商工会」、「頼れる商工会」のための積極運営が必要だ。

3. 外的及び内的環境の変化等

中小企業の業況は持ち直しの動きが見られるが、業種・規模によってはその動きに違いがある。特に資金繰りと雇用は依然として厳しく、デフレや円高の進行等、先行きにリスクがある。社会構造が複雑になり、多様な消費行動の変化に地域事業者は対応できないでいる。大規模資本による消費流失は資金余裕のない地域商業者に将来展望を開けさせない。後継者が育つ環境にない。

人口減少社会での開廃業率の悪化は深刻だ。創業しやすい環境整備ときめ細かい創業支援が必要だ。成長性ある新分野への経営革新を推し進める施策指導が求められている。

情報技術の進展は目覚ましい。その分デジタルディバイド(情報格差)は広がりを見せている。情報環境整備は急務でブロードバンド(光ファイバー回線)の導入を促進しなければならない。

群馬原町駅北地区は大型店やロードサイドショップ、美容業などでさらに商業集積され、住宅建設も進み活況を呈している。駅南地区の商店街は空き店舗も目立つようになり、商業活性化策が必要で本年度は街路灯の整備が行われ、まず街路灯ハード事業に手が付けられた。

4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

(1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

地域経済が悪化し、地域の疲弊が懸念される中、行政合併後の地域融和をさらに進めることと地域振興を図る目的として町民総参加による地域おこしイベントの東吾妻ふるさとまつりを企画し、行政との連携を図りつつ、地域振興の起爆材として地域各層への働きかけで全町民の一体感のある催しとなるよう開催した。

地域資源や季節の風物詩を取り込み、春のすいせん祭りや歳末の大酉祭は商業活性化を図るイベントとして計画されている。同時にプレミアム商品券販売や販売促進事業で消費者とのふれあいを通して商業活性化を図っている。

また商店街街路灯を改修整備することにより商店街・商業集積の活性化を図るハード事業も手がけた。この事業を実施することで夜間でも快適な歩行空間を演出することができ、安全安心な商店街としての認知度を高められ商店街に賑わいをもたらすことが期待される。

イベントの企画を立てる上での事例研修として地域振興、商業振興で一定の成果をあげている商店街理事長の講演会を実施し今後の取り組みの指針となり、今後の事業展開に生かしたい。

IT社会に合わせた情報環境整備向上をはかる趣旨から事業所のブロードバンド化(光ファイバー整備)普及も継続して実施し、情報通信回線の向上を図るための光ファイバー回線の導入指導をし、同時に通信コストの削減提案を行った。情報化時代には欠かせないブロードバンド化の必要性を説明し、通信環境改善を目標とした。

(2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

地域振興イベントは地域の融和も図られ、一体感を増加させ、多くの消費者とのふれあいにより地域商業者の事業機会を増大させ、経済状況を好転させる一助と事業実施により行政、各団体、各層との連携が図れたことが成果だった。

風物詩、歳末イベントとして「大酉祭」催事会場で販売促進事業(ポイント事業)で抽選会や、プレミアム商品券の販売、餅つき大会、果実のつかみ取り、お菓子のつかみ取りなど消費刺激事業や消費者とのふれあい事業を実施し、歳末イベントとして集客を図った。

商業活性化のためのハード事業である省エネ型の街路灯の建て替えは、商店街の再生・活性化を図るため、空き店舗の活用・情報センターの充実・イベントの開催等を合わせ実施することとなり成果をあげ始めている。

次々のアイデアでイベントや事業展開をしている事例の紹介の講演会の実施で今後の取り組み方や方向性の説明を受け、現状の共通認識や今後の対策の方向性を互いに確認し、次への事業ステップの一助となった。

情報通信環境整備事業は現況の情報通信環境が認識でき、また情報化時代の新技術の理解が図られた。

(3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

地域振興イベントは地域の疲弊を改善するため、地域コミュニティの重要性を再確認し、地域の連携を深めて行政との連携も配慮しつつ、地域おこしを進展させた。継続展開することにより、行政、各団体、各層との連携が深まり、発展的多角的な連携事業が可能となる。地域振興のためのネットワークが広がった。地域零細事業者環境の悪化の歯止めとなるよう継続的にイベントをしにかけていく必要がある。継続実施により、商業者間の連携を保ち、消費者ニーズを把握し、販売促進事業の改善を図り、充実した集客力をもたらせることが期待される。

街路灯整備事業は省エネ型街路灯により環境対策となり、ランニングコストの削減とともに低炭素社会への転換の理解が深まった。明るく、ランニングコストの安い街路灯設置により商店街振興を継続的に進めていかなければならない。安心して買い物ができる環境の創出とCO2排出量の削減による地球温暖化防止に貢献していきたい。

事業経営上、情報化時代に即応した情報環境改善の必要性を説明し情報化戦略の重要性を周知させた。情報量の拡大とともに情報通信環境の整備が重要性を増してきており、現況の情報通信環境を常に把握しながら、進化する情報技術を理解し、活用を図ることの提案を継続的に実施し、普及させることが今後も期待される。

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚中の1枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	7. 地域活性化関連事業	東吾妻町ふるさと祭事業
-------	--------------	-------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	地域経済が悪化し、地域の疲弊が懸念される中、行政合併後の地域融和をさらに進めることもねらいとし、町民総参加による地域おこしイベントの東吾妻ふるさとまつりを企画し、行政とも連携を深めながら地域振興を図ることを成果目標とした。	行政との連携を図りつつ、地域振興の起爆材として町を上げてのイベントを企画し、地域各層への働きかけで全町民の一体感のある催しとなるよう努めた。
事業成果	地域の融和が図られ、一体感を増加させ多くの消費者とのふれあいにより地域商業者の事業機会を増大させ、経済活況を好転させる一助とし、事業実施により行政、各団体、各層との連携が図られることを事業成果とした。	地域一体の手作りイベントを企画し、町民総参加のふれあいの場づくりを行い地域経済の活況を図るきっかけとなり、各団体等の地域のネットワークづくりが確立してきた。
付随成果	町民の総参加を目標とし事業企画したため通常、商工会事業と無縁な各団体、各層との連携も生まれ、地域振興のためのネットワークが広がった。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	評価の区別
		1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了
	判定 継続	

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 継続展開することにより、さらなる融和、行政連携が深まり、発展的多角的な連携事業が可能となる。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	地域の疲弊を改善するため地域コミュニティの重要性を再認識し、地域の連携を深め、活況あるまちづくりの進展を図ることが期待される。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚中の2枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	商店街街路灯改修整備事業
-------	----------------	--------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）					
成果目標	商店街街路灯を改修整備することにより商店街・商業集積の活性化を図ることを成果目標とする。	省エネ型の街路灯に建て替えるとともに商店街の再生・活性化を図るため、空き店舗の活用・情報センターの充実・イベントの開催等実施する。					
事業成果	この事業を実施することで夜間でも快適な歩行空間を演出することができ、安全安心な商店街としての認知度を高められ商店街に賑わいをもたらすことが事業成果である。	省エネ型街路灯により電気料金削減で捻出された資金を①賑わい創出のための「ふるさと祭」開催、②情報発信センターの整備充実、③福祉ふれあいロードによる人に優しい街づくりに充当し商業活性化を図った。					
付随成果	省エネ型街路灯により環境対策となり、ランニングコストの削減とともに低炭素社会への転換への理解が深まった。						
指標目標達成への貢献度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 低12345高 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 貢献度リストボックス入力 3:普通 </div>						
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td>1: 継続</td> </tr> <tr> <td>2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> </tr> <tr> <td>4: 完了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
<p>入力担当者（評価者）のコメント欄</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 50%; padding-right: 10px;"> <p>(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 明るく、ランニングコストの安い街路灯設置により商店街振興を継続的に進めていく。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性</p> </div> </div>							
今後の事業実施により期待される成果	省エネタイプの街路灯に建て替えることにより、安心して買い物ができる環境の創出とCO2排出量の削減による地球温暖化防止に貢献していきたい。						

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚中の3枚

＜ 評 価 分 析 シ ー ト ＞

実施事業名	1. 経営指導関連事業	地域活性化講演会
-------	-------------	----------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	地域事業者の存続も危ぶまれる厳しい状況下地域振興、商業振興で一定の成果をあげている事例講演を受け今後の取り組みの指針とすることを成果目標とした。	成果をあげている事例の説明や本地域にふさわしい取り組み方の指導を受ける講演会をおこなった。
事業成果	次々のアイデアでイベントや事業展開をしている事例の紹介、取り組み方や方向性の説明を受け、今後の本地域に対する活性化のための参加となった。	具体的先進事例の説明や指導を受け、本地域における可能性ある活性化策の策定に取り組んだ。
付随成果	本講演会実施により現状の共通認識や今後の対策の方向性を互いに確認し、次への事業ステップの一助となった。	

指標目標達成への貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 継続 </div>	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><th colspan="2">評価の区別</th></tr> <tr><td>1: 継続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃止</td></tr> <tr><td>4: 完了</td></tr> </table>	評価の区別		1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別								
1: 継続								
2: 見直し								
3: 廃止								
4: 完了								

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 地域活性化を図る努力を継続していかなければならない。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業実施により期待される成果	全町あげて各種団体、各層との連携を強化し今後の具体的行動策を策定し、具体的事業成果が図られることが期待される。
-------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月30日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚中の4枚

< 評 価 分 析 シ ー ト >

実施事業名	3. 情報化関連事業	情報化環境向上事業
-------	------------	-----------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）
成果目標	IT社会に合わせた情報環境整備向上をはかる趣旨から事業所のブロードバンド化（光ファイバー整備）普及を成果目標とした。	情報通信回線の向上を図るための光ファイバー回線の導入指導を実施し、同時に通信コストの削減提案をおこなった。
事業成果	情報化時代には欠かせないブロードバンド化の必要性を説明し、通信環境改善を事業成果とした。	事業経営上、情報化時代に即応した情報環境改善の必要性を説明し情報化戦略の重要性を周知させた。
付随成果	現況の情報通信環境が認識でき、また情報化時代の新技術の理解が図られた。	

指標目標 達成への 貢献度	低 1 2 3 4 5 高
	貢献度リストボックス入力 3:普通

事業実施の 結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 継続 </div>	評価の区別 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了
---------------	--	--

入力担当者（評価者）のコメント欄	
(1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 情報量の拡大とともに情報通信環境の整備が重要性を増してきており、経営戦力には最先端の技術導入を目指すことが必要である。	(2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性

今後の事業 実施により 期待される 成果	現況の情報通信環境を常に把握しながら、進化する情報技術を理解し、活用を図ることの提案を継続的に実施し、導入、普及させることが期待される成果である。
-------------------------------	---

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

入力年月日	平成22年4月9日
商工会コード	4291
商工会名	東吾妻町
入力担当者職氏名	経営指導員 山田登政
分析シートの枚数	5枚中の5枚

＜ 評 価 分 析 シ ー ト ＞

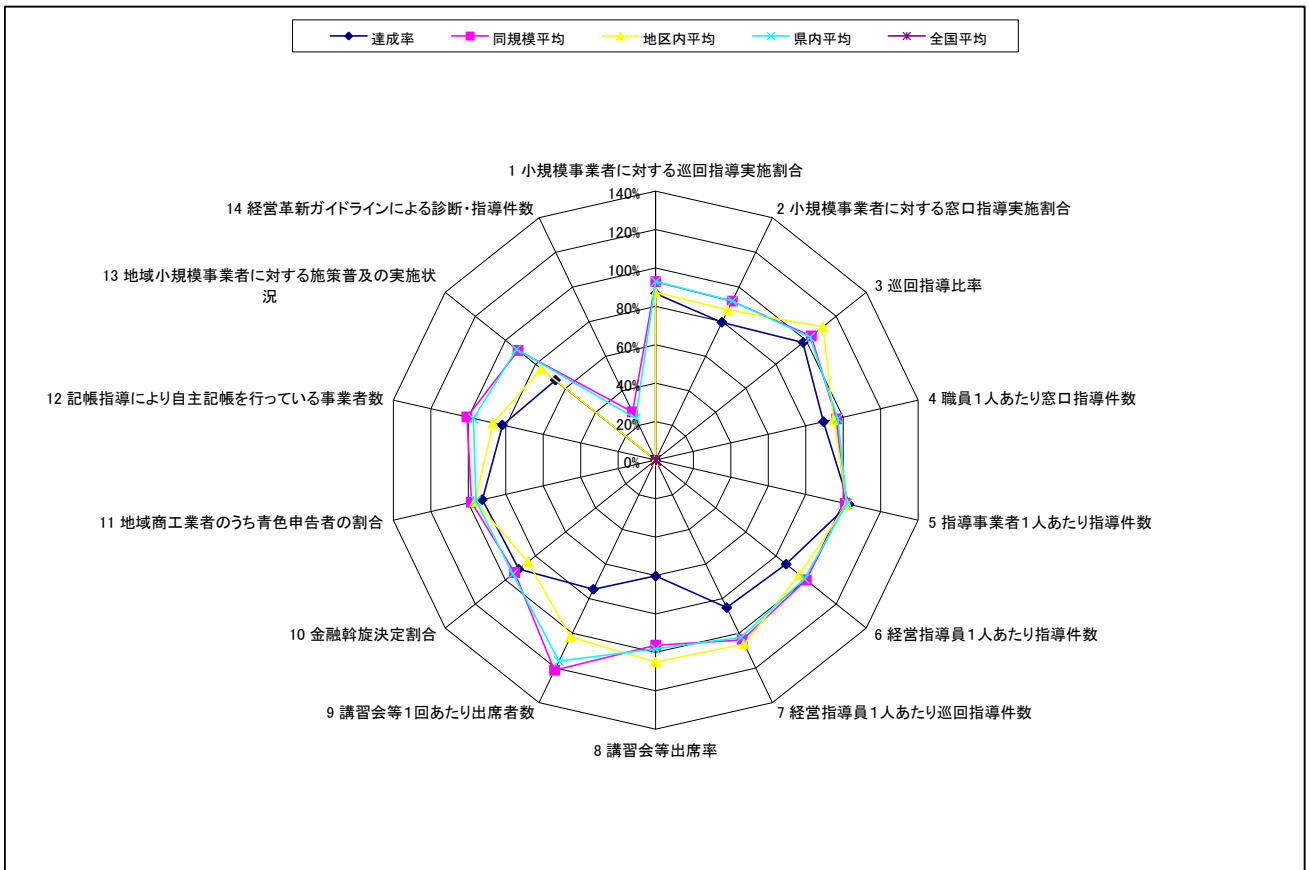
実施事業名	4. 中小商業活性化関連事業	販売促進イベント事業
-------	----------------	------------

	アウトカム（何がもたらされたか）	アウトプット（何をしたか）					
成果目標	地域商業環境が悪化する中、歳末イベントで商業活性化を図ることを成果目標とする。	風物詩、歳末イベントとして「大酉祭」催事会場で販売促進事業（ポイント事業）で抽選会やプレミアム商品券の販売、餅つき大会、果実のつかみ取り、お菓子のつかみ取りなど消費刺激事業や消費者とのふれあい事業を実施した。					
事業成果	プレミアム商品券販売や販売促進事業で消費者とのふれあいを通して商業活性化を事業成果とした。	歳末イベントとして集客を図り、多くの関係者の協力の下、地域おこしの一助となるべき、にぎわいある事業を実施した。					
付随成果	商業イベントの企画運営により商業者間の共通認識や連携が図れた。						
指標目標達成への貢献度	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 低 1 2 3 4 5 高 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 貢献度リストボックス入力 3:普通 </div>						
事業実施の結果評価	右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 判定 継続 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td>1: 継続</td> </tr> <tr> <td>2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> </tr> <tr> <td>4: 完了</td> </tr> </table>	評価の区別	1: 継続	2: 見直し	3: 廃止	4: 完了
評価の区別							
1: 継続							
2: 見直し							
3: 廃止							
4: 完了							
入力担当者（評価者）のコメント欄 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 地域零細商業者環境の悪化の歯止めとなるよう継続的にイベントをしかけていく必要がある。 </div> <div style="width: 45%;"> (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 </div> </div>							
今後の事業実施により期待される成果	継続実施により商業者間の連携を保ち、消費者ニーズを把握した上、販売促進事業の改善を図り、集客したイベントによりにぎわいある地域づくりが期待される。						

事業区分 1 経営指導関連事業

4291 東吾妻町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
1	1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合	87%	93%	87%	93%	0%	
	2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合	79%	92%	87%	92%	0%	
	3 巡回指導比率	98%	104%	111%	103%	0%	
	4 職員1人あたり窓口指導件数	90%	97%	95%	97%	0%	
	5 指導事業者1人あたり指導件数	103%	101%	102%	102%	0%	
	6 経営指導員1人あたり指導件数	87%	100%	96%	99%	0%	
	7 経営指導員1人あたり巡回指導件数	85%	104%	106%	102%	0%	
	8 講習会等出席率	60%	96%	105%	98%	0%	
	9 講習会等1回あたり出席者数	75%	121%	102%	116%	0%	
	10 金融幹旋決定割合	91%	94%	85%	95%	0%	
	11 地域商工業者のうち青色申告者の割合	93%	98%	96%	96%	0%	
	12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数	82%	101%	87%	97%	0%	
	13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況	67%	91%	76%	93%	0%	
	14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数	0%	28%	0%	24%	0%	
合計	平均	78.3%	94.3%	88.3%	93.4%	0.0%	



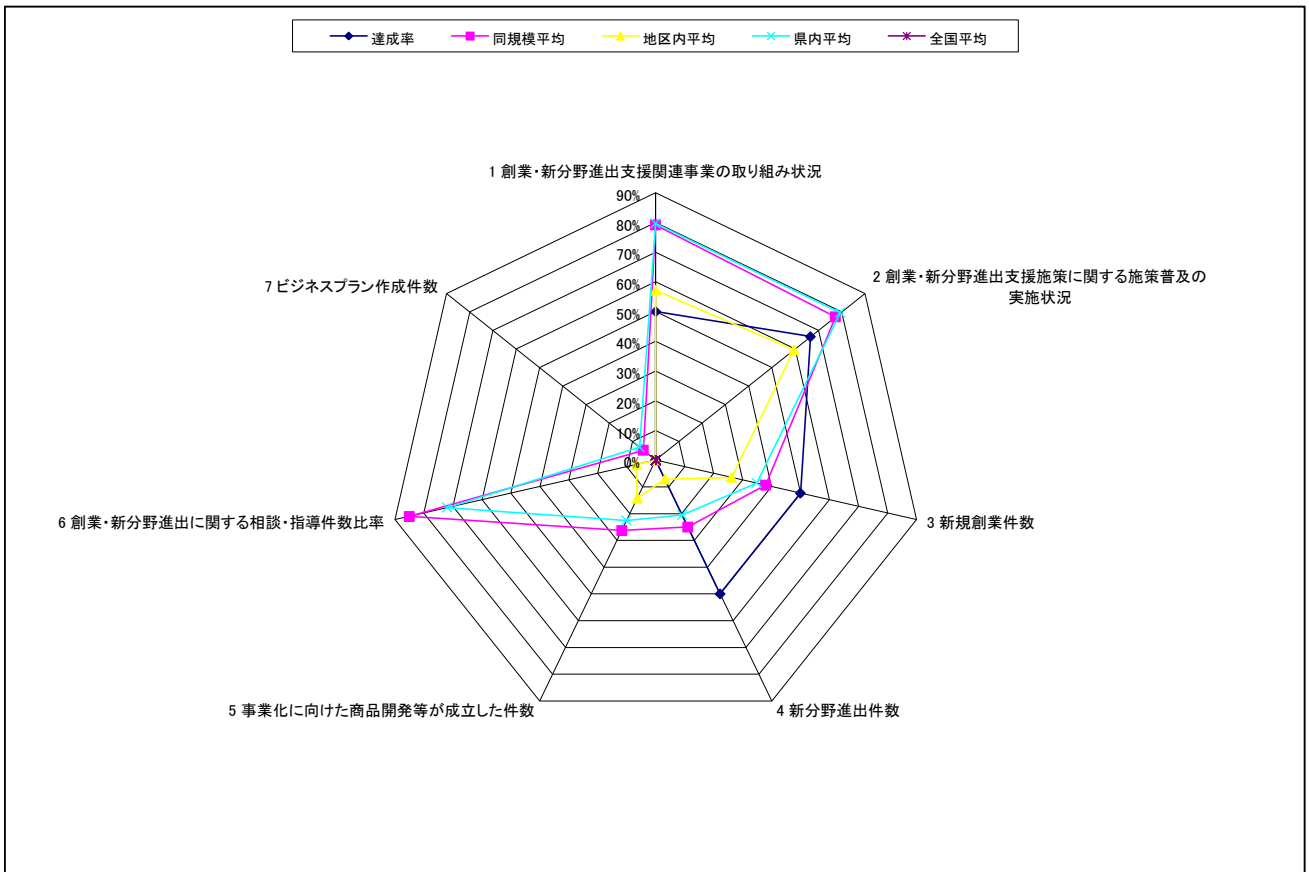
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

4291 東吾妻町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
2	1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況	50%	79%	57%	80%	0%	
	2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実施状況	67%	77%	60%	79%	0%	
	3 新規創業件数	50%	38%	26%	35%	0%	
	4 新分野進出件数	50%	25%	7%	20%	0%	
	5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数	0%	26%	14%	23%	0%	
	6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率	0%	85%	7%	72%	0%	
	7 ビジネスプラン作成件数	0%	5%	0%	7%	0%	
合計	平均	31.0%	48.0%	24.4%	45.1%	0.0%	



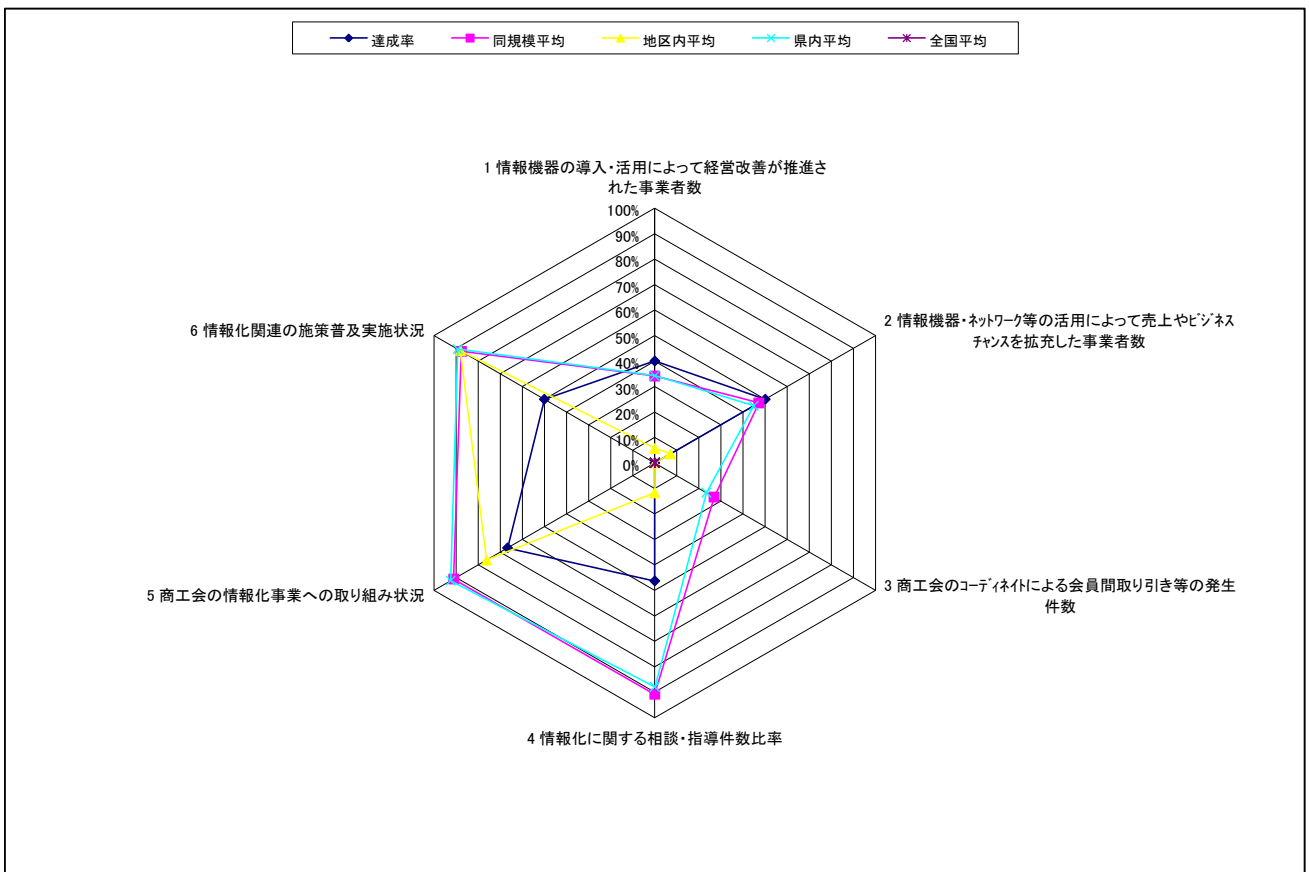
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 3 情報化関連事業

4291 東吾妻町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
3	1 情報機器の導入・活用によって経営改善が推進された事業者数	40%	34%	6%	34%	0%	
	2 情報機器・ネットワーク等の活用によって売上やビジネスチャンスを拡充した事業者数	50%	47%	7%	45%	0%	
	3 商工会のコーディネートによる会員間取り引き等の発生件数	0%	27%	0%	23%	0%	
	4 情報化に関する相談・指導件数比率	46%	91%	12%	88%	0%	
	5 商工会の情報化事業への取り組み状況	67%	91%	76%	92%	0%	
	6 情報化関連の施策普及実施状況	50%	88%	88%	89%	0%	
合計	平均	42.2%	63.0%	31.5%	62.0%	0.0%	



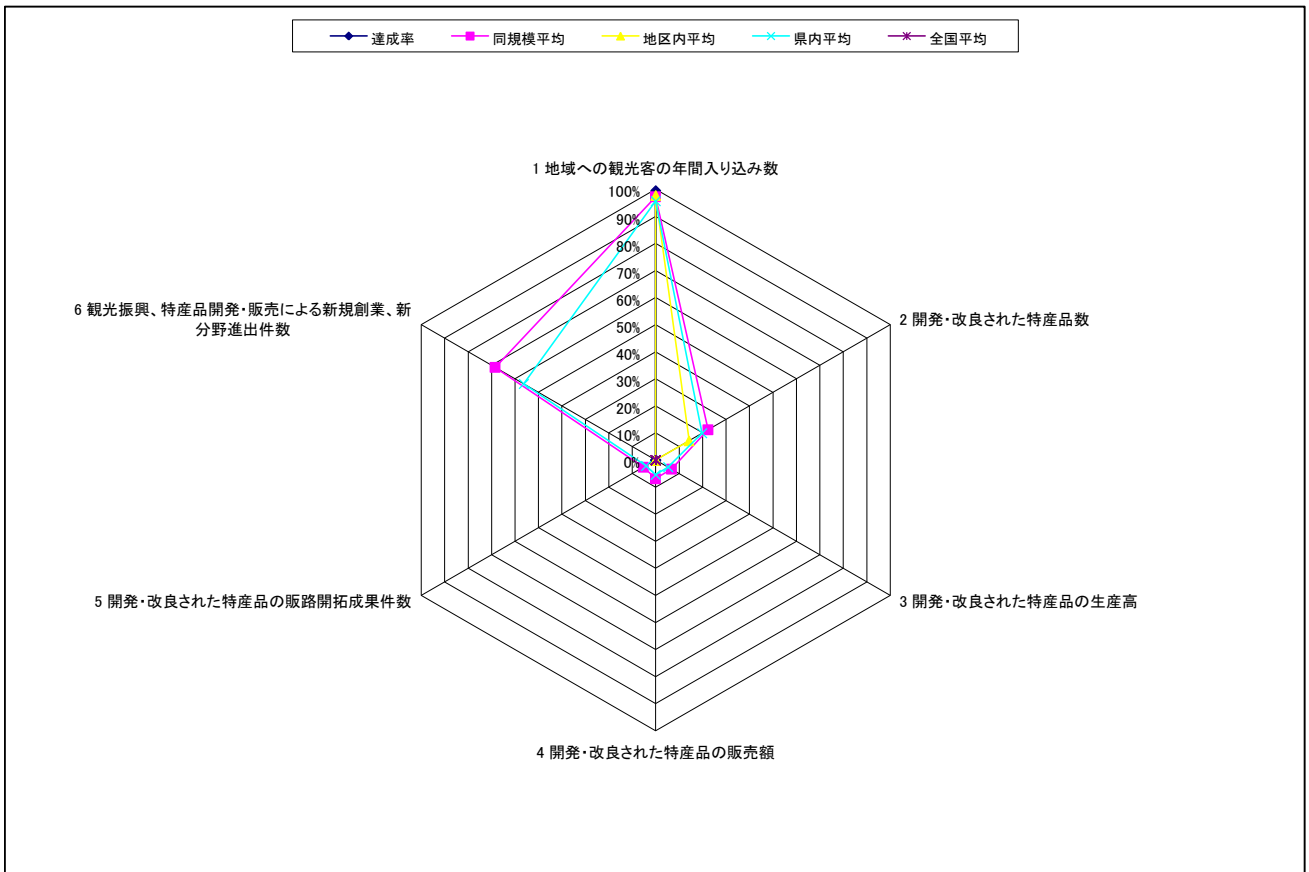
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 5 特産品関連事業

4291 東吾妻町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
5	1 地域への観光客の年間入り込み数	100%	97%	98%	96%	0%	
	2 開発・改良された特産品数	0%	22%	14%	20%	0%	
	3 開発・改良された特産品の生産高	0%	7%	0%	5%	0%	
	4 開発・改良された特産品の販売額	0%	7%	0%	5%	0%	
	5 開発・改良された特産品の販路開拓成果件数	0%	5%	0%	4%	0%	
	6 観光振興、特産品開発・販売による新規創業、新分野進出件数	0%	68%	0%	56%	0%	
合計	平均	16.6%	34.5%	18.7%	31.1%	0.0%	



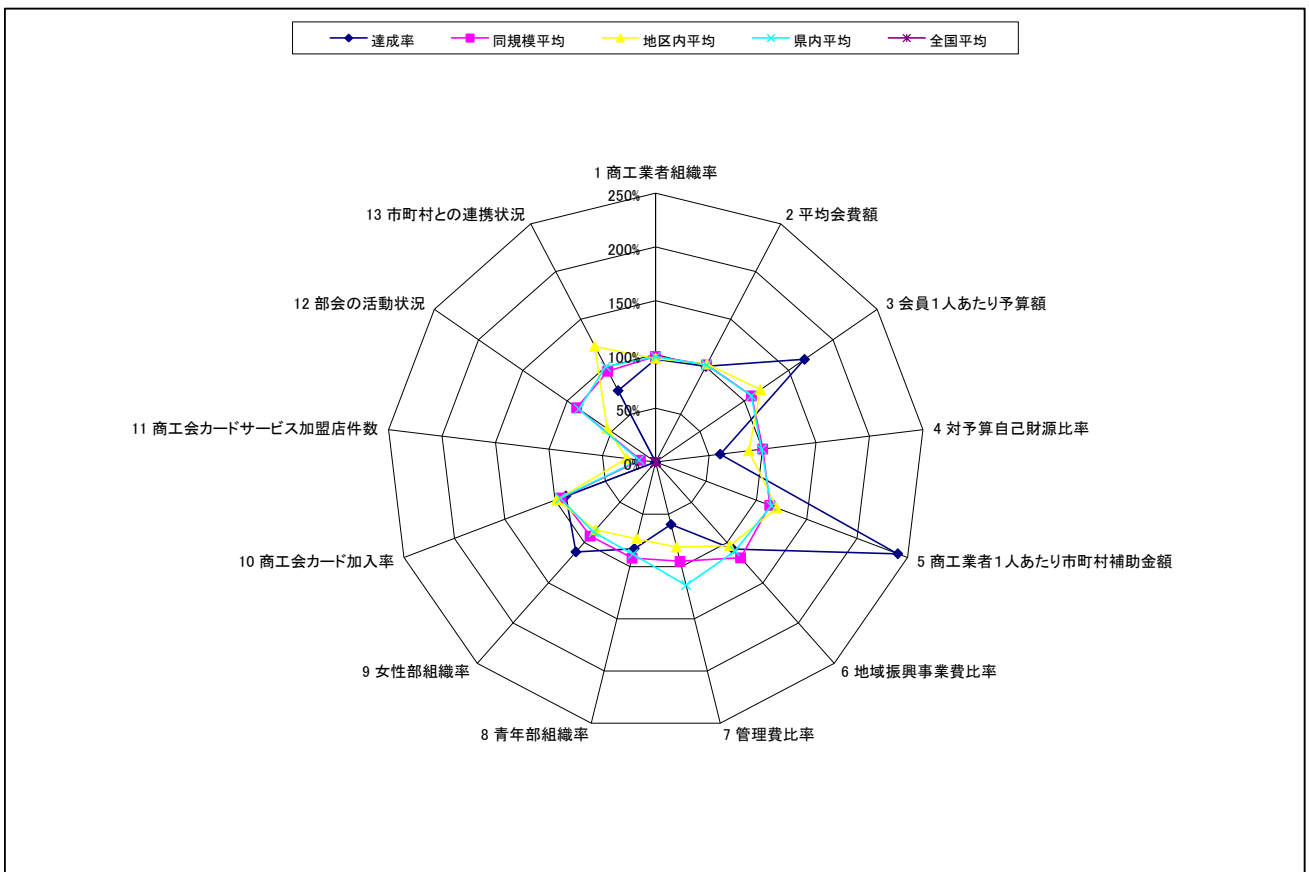
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 8 組織基盤強化関連事業

4291 東吾妻町

事業区分	統一指標	達成率	同規模平均	地区内平均	県内平均	全国平均	予備項目
8	1 商工業者組織率	95%	98%	96%	98%	0%	
	2 平均会費額	100%	102%	103%	102%	0%	
	3 会員1人あたり予算額	168%	108%	118%	108%	0%	
	4 対予算自己財源比率	60%	100%	87%	99%	0%	
	5 商工業者1人あたり市町村補助金額	240%	113%	120%	115%	0%	
	6 地域振興事業費比率	108%	119%	104%	111%	0%	
	7 管理費比率	60%	95%	81%	118%	0%	
	8 青年部組織率	83%	92%	73%	88%	0%	
	9 女性部組織率	112%	92%	84%	87%	0%	
	10 商工会カード加入率	89%	94%	98%	95%	0%	
	11 商工会カードサービス加盟店件数	0%	14%	27%	16%	0%	
	12 部会の活動状況	0%	89%	55%	87%	0%	
	13 市町村との連携状況	75%	95%	121%	100%	0%	
合計	平均	91.6%	93.2%	90.0%	94.1%	0.0%	



自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください
